

スタッフ

特任教授： 中村 肇、 事務補佐員： 今野 歩実

設置目的

東北大学 工学部 電気情報物理工学科（電気・情報系の学部組織）では、優れた潜在能力をもつ多くの学生が本学科で学び力を伸ばすことに興味を抱いていただけるように、高校生・高専生・受験生等に対する広報活動を積極的に展開しています。

教育広報企画室は、電気・情報系分野に関する大学での教育研究内容や研究者・技術者としてのキャリア等についての高校生等の理解促進などを目的とした高校等及び高校生・高専生・受験生等に対する本学科についての広報活動およびそのための高校と大学の連携活動の中心的役割を担うことを目的として、2007年に設置されました。

主な活動内容

1. 出張講義・大学見学受入のコーディネート

高校等からの依頼に基づき、本学科教員が講師として高校等に出張し、自身の研究内容や大学生活等についてわかりやすく説明する活動が「出張講義」です。平成28年度は56の高校等へ本学科教員の派遣を行いました。教育広報企画室は、様々なルートで本学科に届く講師派遣依頼を一元管理し、高校等側のニーズを把握して適任の講師を選定し対応を依頼、高校等へ派遣するというコーディネート活動を担当しています。

他方、高校等側が大学を訪問して研究室や大学設備を見学し、教員や学生から直に説明を聞くことによって、大学での研究や大学生活について理解を深める活動が、「大学見学」です。平成28年度は本学科へ19件の大学見学を受け入れました。最近は「自校卒業生と高校生の懇談の場を設けたい」「実験実習を行いたい」「PTAが見学したい」など高校側の要請も多様化してきていますが、専任部署である強味を生かして学内の他部署では受入が困難なケースでも積極的に受け入れを行い、PRを図っています。

平成29年度は現時点で、出張講義は59件、大学見学受入は17件を予定しています。



2. 各種広報活動（広報ツールの作成、インターネット広報、等）

○学科紹介パンフレットの作成

7月末に開催されるオープンキャンパスに合わせて、高校生向け学科紹介パンフレットを作成しています。2012年版からは『10年後の社会をつくるあなたのために』と題し、学科紹介だけに留まらず、未来の社会を創り出すのは高校生であるあなたたちであり、本学科で育つことによって将来、研究者・技術者としてどのような形で社会に貢献できるようになるかという「工学系キャリア教育」の視点も取り入れて編纂しています。出張講義や大学見学受入の際も配布しています。



○高校生等向け学科ウェブサイトの作成と運用

一般の方向けである電気・情報系のサイトとは別に、高校生・受験生向けの学科ウェブサイトを作成し運用しています。高校生の利用を想定してスマホ対応にすると共に、本学科の研究成果のわかりやすい紹介、本学科に関する新聞報道等の紹介、学生の受賞の紹介なども掲載し、本学科がダイナミックでワクワクする学科であることが高校生等に伝わるように工夫しています。



○学科Twitterの設置と運用

電気情報物理工学科の非公式twitterを2012年10月に開設し、本学科に関する新聞報道等やプレスリリース、教員及び学生の受賞情報、その他キャンパス情報等をいち早く紹介するようにしています。

[twitter] @tohoku_univ_iis

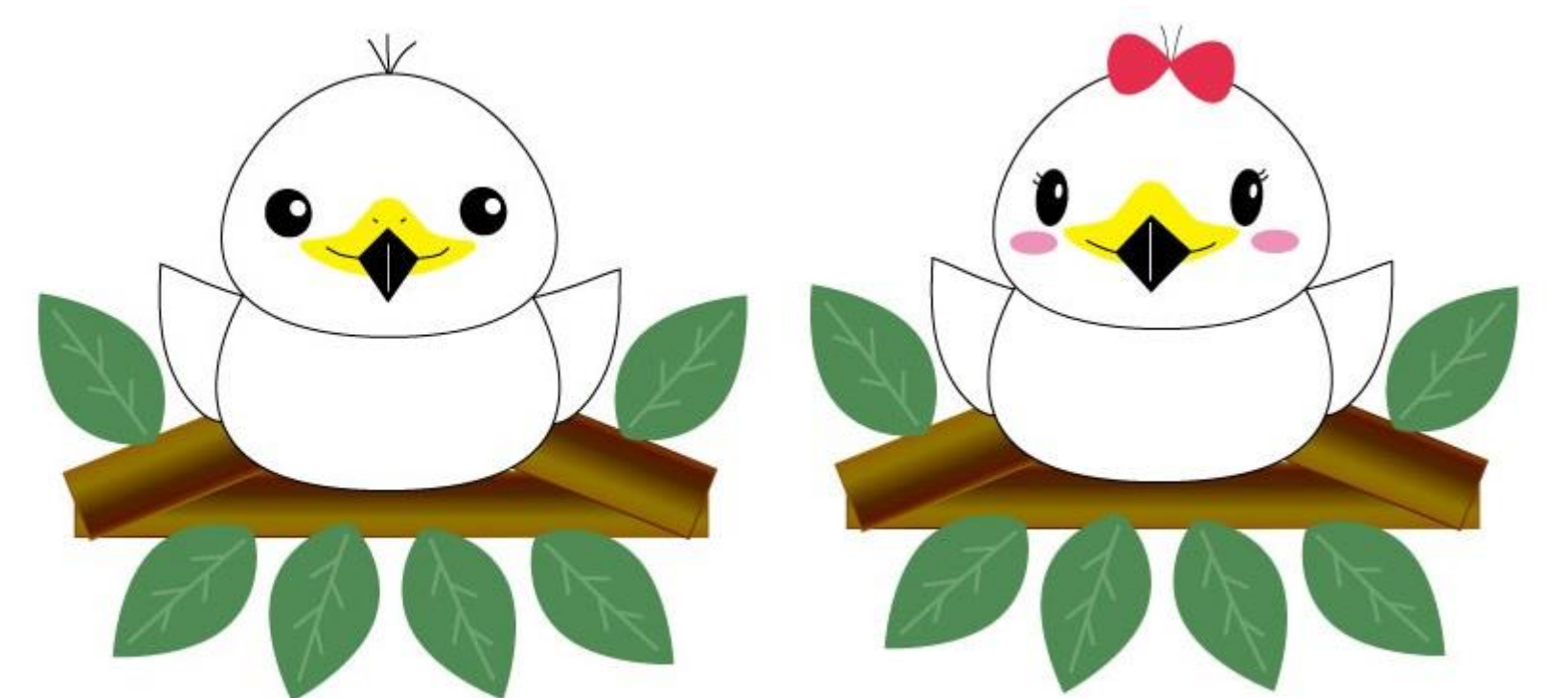
○オープンキャンパスでの交流ルーム運営

2013年度のオープンキャンパスから『交流ルーム』の設置運営を担当し、女子学生を始めとした本学科学生と高校生・受験生及び保護者が気軽に懇談できる機会と場所を設けることで、本学科への理解を促進しています。



○学科キャラクターの作成と活用

本学科の理念を象徴する非公式キャラクター『タカシ&タカミ』を2015年7月に作成し、PR活動に活用しています。



3. 高校教員等とのコミュニケーション

高校生等に理解してもらうためにはまずは指導を担当されている高校教員等に理解してもらうことが重要との認識の下、東北及び北関東の高校の進路指導担当やSSH（スーパーサイエンスハイスクール）担当の教員を中心に、高校等教員とのコミュニケーション活動を行い、ネットワークの強化を図っています。